



JAPAN  
MARROW  
DONOR  
PROGRAM

## 安全情報

2004 年 1 月 21 日

(財) 骨髄移植推進財団  
認定施設採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団  
ドナー安全委員会

### 骨髄採取後、左腸腰筋部位に血腫を認めた事例について(調査報告)

昨年 8 月 13 日付で標記内容にて通知(別紙)しました事例について、調査が終了しましたのでご報告致します。今後、同様事例が発生することが推測されるため、再発防止の観点から安全情報を配信しました。

( 前回通知文書を参考として添付致しましたので、ご確認ください。)

#### < 結論 >

本事例について検討を重ねた結果、採取針の貫通が原因であると考えられます。

#### < 原因等 >

採取針が貫通した原因として、下記 2 点が示唆されました。

骨髄提供者の腸骨の厚さが薄かったこと。

手技的な問題も否定できないこと。( 仙腸関節に刺してしまった可能性はある )

#### < 対策 >

穿刺針の長さや腸骨の厚みに十分配慮して、穿刺の深さを調整すること。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団  
ドナー安全委員会  
(事務局 担当:折原)  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町 3-19  
廣瀬第2ビル 7 階  
TEL 03-5280-2200  
FAX 03-5283-5629  
E-mail: orihara@jmdp.or.jp